

水先案内

水のこと、もっとしりたい

新潟市水道局広報紙

Vol.19
2003

平成15年10月19日発行

新潟市水道局

～水源を守る気持ちを忘れずに～

シリーズ「水のいろいろ」～音～

ぼちゃん・じゃーじゃー・ジャブジャブ・ブクブク・ザーザー「水の音は?」と聞かれたらどんな音を連想しますか。水滴の音・じゃ口から勢い良くでる音・水の中に潜った時の音など水はその場面ごとに姿を変え、違った音を奏でてくれます。

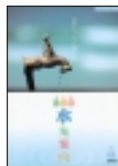
水の音を表現する一つの方法として「^{すいせんくつ}水琴窟」があります。水琴窟とは、地中に伏せて埋められた「かめ」の中へ流れ込んだ水滴が、水面を打つ音を楽しむもので、日本庭園や茶室の入口に設けられたものが多く、その音のもつ癒しの効果とともに、水おとの芸術として見直されています。新潟市内では白山公園内「^{えいせいの}燕喜館」の主庭に水琴窟があります。一滴の水が奏でる妙なる癒しの時間、体験してみたいはいかがでしょうか。

水の中の音はどうでしょう?
水は空気よりも音を速くへ早く伝える性質があります。だから、一見静かに思える水の中、実は空気中よりも「音で溢れた世界」なのです。おかあさんのお腹のなかの胎児も、水(羊水)を通していろいろな音を聞きながら育ちます。人が初めて聞く音は、水の中の音と言えるでしょう。水の音、水を通して聞こえる音、いろいろですが、どれも皆心地よい音ばかりです。(次回テーマは“形”)

大きく・見やすく・内容充実 新しい「水先案内」

この度、「水先案内」が新しくなりました。紙面を拡大し文字を大きく見やすく、皆様に親しんでいただけるよう内容も充実させ、身近な水道水に関する情報紙として生まれ変わりました。これからも皆様のお役に立つ情報を掲載していきたいと考えています。

(水先案内バックナンバー)



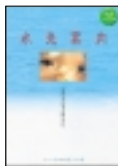
(創刊号 H8.10)



(Vol.2 H9.5)



(Vol.3 H9.10)



(Vol.4 H10.5)



(Vol.5 H10.10)



(Vol.6 H11.5)



(Vol.7 H11.10)



(Vol.8 H12.2)



(Vol.9 H12.5)



(Vol.10 H13.1)



(Vol.11 H13.3)



(Vol.12 H13.5)



(Vol.13 H13.11)



(Vol.14 H14.2)



(Vol.15 H14.5)



(Vol.16 H14.10)



(Vol.17 H15.2)



(Vol.18 H15.5)